

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	12
学校名	富山県立富山西高等学校

学校の現状と課題	本校では、「勤労・自治・協和」を校訓とし、「社会や地域の担い手としてふさわしい人格の完成をめざし、全人教育を基礎として、生徒一人一人の能力・適性の伸長と創造的活力の育成に努める」ことを教育目標に掲げている。しかし、高校生活の目標が曖昧なまま入学してくる生徒も多く、個々の生徒の能力・適性、多様な進路志望に応じ、多面的に生徒の諸活動を活かす場を設定し、学校生活に魅力と活力をもたせる工夫が必要である。また、本校は以前から地域との絆を大切にしながら、地域に根ざし、地域から信頼される学校を目指してきた。そこで、ボランティア活動を行うなど、地域と連携した活動を通して、地域を理解し愛着を深めるとともに、生徒自身が社会に役立つことの大切さに気づき、自己有用感を高めていく中で、積極的に社会に参画し、貢献しようとする意欲や態度を育てていくことが求められる。	
テーマ(特色)	ボランティアを通した地域交流活動の充実	
設定した「テーマ」の達成状況	・地域貢献活動の一環として、JR高山線速星駅を訪問し、本校家庭クラブ員によるスポンジ入り手作り座布団を設置した。地域との交流を深め、日頃の活動成果や取り組みを披露するとともに、社会的支援について考えることができた。	
実施内容 (具体的に記入する)	・JR高山線速星駅に訪問 家庭クラブ員による手作り座布団を作製し設置した。 ・今年度も富山市立婦中中央児童館を訪問し、家庭クラブ員による手作りマスクを作成し贈呈することを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、児童との交流活動はできなかった。	
対象者(学年・人数など)	家庭クラブ部員(1・2学年 計8名)	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
2月	JR高山線速星駅へ「スポンジ入り手作り座布団」贈呈	
3月		